

続・学びの実感

ひっ算のしかたを考えよう(たし算)

◇今年度の低学年部は『同じ単元で取り組む』方式で研究を進めています。その、低学年部授業の先陣を切った川村先生の授業でした。声のボリューム(トーン)を変えながら聞かせる、見せるテクニックはさすが川村先生だと感じました。次回行われる斎藤先生とは違った形で学習を進めたそうです。2年生の「実態を踏まえた上での指導」ですが、以下のような形でチャレンジした授業でした。



◆事前検討会から…

- ※『ワークシート配布しないで学習をする』形で進める
 - ・問題文はノートへ視写しない。教師が黒板に示したものを使っていく。
 - ・黒板に示したテープ図で学習を進める。
 - ・子供たちにテープ図を書かせる時間がかかる…。
 - ・テープ図を書くことが大切ではなく、なぜそうのように計算するのかを理解させることが大切なので…。
 - ・テープ図に自分の考えを書かせるるとごちゃごちゃになってしまうかも…。



※問題文の『印』の付け方

- ・赤と青の色鉛筆を使い問題文にアンダーライン等の印を付ける。どの数字を使い、何算で求めるのかを問題文から見つけ出す練習のため。
- ・低学年部で統一して取り組んでみる。

※下位群への配慮等

- ・数字カードを用意して考えたり、計算させたりする。
- ・数字を分解して計算する「さくらんぼ型」で取り組む児童も出てくるかもしれないが、そこは深く(強く)強制しない。

※いろいろな計算方法(答えの導き出し方)は考えさせない

- ・今回は『計算の仕方を身に付けさせる』を

大きなテーマにして学習を進めていく。

- ・「は・か・せ」は意識させるが、「簡単に」という点では当てはまらないかも…。

◆事後検討会から…(学年部の記録より)

《自評》

◎川村先生…

- ・時間短縮のために復習を省いたのは正解だった。
- ・時順序の言葉を使うことを意識させたくて、「はじめに」カードの提示をしたり、シートに言葉を入れたりした。
- ・題意をとらえることが苦手な子が多いため、問題に線を引く+テープ図にでも丁寧すぎたかな…?テープ図だけでもよかったかもしれない。



- ・事前授業（1組）で抜けがあった「立式に答えも書く」「答えに単位をつける」も取り上げました。
- ・筆算だけど80+40とする子が多かった。（前単元「3つのかずの計算」の考えから？）
- ・十の位、百の位、繰り上がり…などの子供の言葉を使ってまとめた。
- ・繰り上げの「1」を意識させるために「百の位は1+0」という説明をいれた。
- ・筆算の時には、繰り上がりの数を書かせるようにしたい。
- ・こどもたちは緊張の中とても頑張っていた。
- ・計算順序は分かっていたが、言葉に表すところで難しさがある子がいた。

・低学年として、どのレベルを〇とするか、悩むところです。

《事後検討会から》

◎参観者…

- ・テープ図でとらえるところがよかった。視覚的にとらえさせるのが◎
- ・自力解決の前段階から位取り表を使用したことが、時間が足りなくなった要因かも…でも下位群にとっては手助けに…。
- ・ペアがよい表情で、頷きながら聞き合っていたのが素敵です。日頃の学級経営が見えますね。
- ・図を書いていた子もいたので、それも説明できたら尚良いですね。
- ・適用問題までできたのはさすが！ですね。時間がかかりがちなのは、低学年の課題なので…。
- ・先生の最後の説明で「百の位」が登場したので、意識付けになったのでは。
- ・事前授業では「はじめに」の書き出しだけで話したが、今回は「一の位から…」も付け足して書き出したことが意識できた。
- ・事前授業では「はじめに」も言わずに発表の子がいたから、今日はよかった。
- ・担任の問い方「何をきかれているの」「何を求めるの」で反応が違う。授業者が言葉一つ一つを吟味する重要性を学びました。
- ・ペア学習でプリントを持って読んでいたが、机の真ん中に置いて指さししながらでもよかった。
- ・繰り上がり有りの筆算では、『空位は0』として教えるべき？どこに繰り上がりを書くか？
- ・テープ図に記入することで下位群の子も参加できた。

◆課題のリレー

（有効…○ 課題…●）

- テープ図や位取り表を使うと子供たちの考え方が確認しやすくなる。
- ペア学習の伝え合いの際の見せ合い、聴き合い、認め合う方法の工夫。
- 適応問題を板書すると時間短縮ができる。

次回の研究授業は…

9月25日（木）2時間目
2年1組（斎藤学級）「筆算の方法を考えよう（ひき算）」

できる範囲で話し合いや授業を参観しましょう。

乱筆乱文ですみません。修行していきます。m(._.)m

低学年・中学年・高学年

成 果	
課 題	

育てたい力

--